

平成16年11月9日

各 位

会 社 名	ジーエルサイエンス株式会社
代 表 者 名	取締役社長 森 憲 司 (登録銘柄・コード番号 7705)
問 合 せ 先	取締役総務部長 高橋 良 彰 (T E L 03-5323-6633)

平成17年3月期中間および通期業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年5月17日付当社「平成16年3月期決算短信(連結)」および同日付当社「平成16年3月期個別財務諸表の概要」にて公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成17年3月期 中間期連結業績予想の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)
(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中間純利益
前回発表予想(A)	8,221	401	183
今回修正予想(B)	8,619	603	327
増 減 額 (B - A)	398	202	144
増 減 率 (%)	4.8	50.5	79.0
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期中間期)	7,477	143	101

2. 平成17年3月期 通期連結業績予想の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)
(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想(A)	17,262	1,167	570
今回修正予想(B)	17,401	1,224	591
増 減 額 (B - A)	138	56	21
増 減 率 (%)	0.8	4.8	3.7
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	16,079	882	504

3. 平成17年3月期 中間期個別業績予想の修正（平成16年4月1日～平成16年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	5,900	411	242
今回修正予想（B）	6,617	655	420
増減額（B - A）	717	243	177
増減率（%）	12.2	59.2	73.3
（ご参考） 前期実績（平成16年3月期中間期）	5,552	278	255

4. 平成17年3月期 通期個別業績予想の修正（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	12,495	996	551
今回修正予想（B）	13,207	1,223	702
増減額（B - A）	712	227	151
増減率（%）	5.7	22.8	27.4
（ご参考） 前期実績（平成16年3月期）	12,105	948	623

5. 修正理由

修正理由につきましては、個別・連結の順で記載しております。

（1）平成17年3月期 中間期個別業績予想の修正について

個別の業績につきましては、分析機器事業では平成16年4月に施行された新水道法に関連して自社製の自動固相抽出装置やページ&トラップ濃縮導入装置が極めて好調な売上を記録しました。また消耗品についても、自社製の固相抽出類や試料調整容器関連品を中心に好調な売上実績で推移しました。この結果、売上高、経常利益、中間純利益とも期初計画を上回る業績となる見込みであります。

（2）平成17年3月期 通期個別業績予想の修正について

通期の業績につきましても、上期の好業績に支えられ上記のとおり計画を上回る業績を計上できる見込みであります。

（3）平成17年3月期 中間期連結業績予想の修正について

連結の業績につきましては、当社子会社テクノオーツ株式会社（コード番号：5217）が、本日（平成16年11月9日）発表のとおり、業績予想の若干の下方修正を余儀なくされており、ATAS GL International B.V.も計画を下回る業績の見込みですが、当社個別の業績がこれ等を補い、連結でも売上高、経常利益、中間純利益とも計画を上回る見込みとなりました。

（4）平成17年3月期 通期連結業績予想の修正について

通期の業績につきましても、テクノオーツ株式会社の業績の伸び悩みはあるものの、上期同様、分析機器事業の好業績に支えられ計画を上回る業績を予想しております。

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして実際の業績はこれらの予想と異なる可能性があります。

以上